

男女共同参画の視点で考える防災研修

【団体名】蕨市男女平等推進市民会議

【担当部署】市民生活部 安全安心推進課、市民活動推進室

【提案型】自由テーマ

1. 事業の目的

大規模な災害が発生した際に避難所などで更衣室やトイレ、衛生用品の配布などの生活面や女性に対するDVやハラスメントなどで女性への配慮が欠けた運営がなされていることが問題となっています。これらの問題は、災害時において女性の視点が欠けていることが大きな原因となっています。そのため、この事業で男女共同参画の視点での防災を学び、特に避難所運営に女性視点を積極的に反映させていくことを目指します。

2. 実施内容

- ・男女共同参画の視点で考える防災研修の開催

日時：令和元年12月14日（土）

会場：蕨市立中央公民館 1階集会室

参加者数：56名（男性18名、女性38名）

内容：大規模災害時の講演及びワークショップ（避難所運営体験ゲーム）



講演の様子



ワークショップの様子

3. 役割分担

- 団体：講師選出、依頼、チラシ印刷、案内状作成、当日日程作成、準備委員会開催、役割分担、当日運営に関すること
- 市：広報、町会への協力要請、会場手配、防災士会など関連団体への連絡調整に関すること

4. 事業費と主な支出内容

- (1) 事業費：総額 71,825円（うち蕨市協働事業補助金 71,825円）
- (2) 支出の主な内容 講師謝礼、印刷費

5. 協働による効果

- ・多くの女性が参加して意義のある研修となった。
- ・防災担当職員は、現在男性職員のみであり、この研修を通して女性目線での新たな意見をいただいたので、参考としていきたい。
- ・町会の人間が幅広く参加してくれ良かった。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【団体より】

- ・避難所運営ゲームを通して、災害時にはどんなことが避難所で起こるのかを実際に、みんなで考えられたことは大きな成果であった。避難所で起きる女性に関する問題も参加者に伝わり、いかに女性目線での防災が必要であるか学ぶことができた。団体としては今後も継続して事業を繋げていきたい。また、今回実施した避難所運営ゲームを多くの人たちに参加していただけるよう取り組んでいきたい。

【担当部署より】

- ・最終的な目標は避難所において女性へ配慮した取り組みが実施されることであり、そのためには引き続き今年度の取り組みを継続すべきか、もしくは受講者の地域での活動支援に回るべきか検討する必要がある。また、各町会で取り組みについて温度差があるので、出前講座の実施や市民会議の自主的な取り組みを市が支援するなど、踏み込んだ対応も必要であると考えます。
- ・今回の研修を通して女性視点の防災対応が必要であると改めて認識できた。今後の取り組みについては、お互いの得意な部分を活かしながら、協調して取り組んでいければ良いと思う。